

公益財団法人日本アレルギー協会

関東支部

〒102-0074

東京都千代田区九段南 4-5-11

富士ビル 4階

TEL 03-3222-3437

FAX 03-3222-3438

ホームページ

[http://www.jaanet.org/aboutus/4\\_index\\_msg.html](http://www.jaanet.org/aboutus/4_index_msg.html)

関 東 支 部

だ よ り

第 11 号 (2012 年 1 月 発行)

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は長引く不況の中、東日本大震災とそれに引き続き福島第1原発の事故が起きました。

罹災あるいは避難されました方々に改めて心よりお見舞いを申し上げます。

さて、当関東支部では、昨年も会員皆様のご協力で例年通り、アレルギー週間での市民講座の開催、研究支援、患者団体支援等の活動をおこなうことができました。本年度も引き続き、同様の活動をおこなう予定ですので、よろしくお願いいたします。

また、昨年、当協会宮本理事長のご指示で協会正会員の募集をおこない、関東支部地域のアレルギー専門医の先生方を対象に当支部より加入依頼状をお送りいたしましたところ 50 余名の新規加入があり、当支部の正会員は約 300 人となりました。ご加入いただきました先生方に厚くお礼申し上げます。

本号は半年毎に発行していますが、早くも第 11 号となりました。

今回のトピックスとして 昨年日本皮膚科学会で「蕁麻疹診療ガイドライン (2011)」が作成されたのを機会に同ガイドラインの作成に中心的役割を果たされた広島大学皮膚科 秀 道広教授に「蕁麻疹診療ガイドライン (2011) の特徴と EBM」を執筆していただきました。また例年通り、1～7月の各種アレルギー関連行事予定も掲載いたしました。

本年も当支部を含め日本アレルギー協会の活動のため会員皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

します。

では皆様、本年もお元気でご活躍ください。

関東支部長 伊藤 幸治

2. 本号の目次		頁
1. 新年ご挨拶	支部長	1~2
2. 本号の目次		2
3. 関東支部評議員会報告		3
4. アレルギー週間講演会等について		3
5. トピックス 「蕁麻疹診療ガイドライン(2011)の特徴とEBM」	秀 道弘	4~6
6. アレルギー協会主催・共催・後援の講演会 (当関東支部地域：東京都、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川の各県分、2012年1月~7月)		7
7. 患者団体講演会、集会（同）		8~10
8. 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会（日本アレルギー学会と同関連学会）（2012年1~7月）		11
9. 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会（当関東支部地域：東京都、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川の各県分、2012年1月~7月）		12~14
10. 公益財団法人日本アレルギー協会理事、監事、評議員		14
11. 関東支部評議員会議事録（平成23年8月3日）		14~15
12. 平成23年度関東支部評議員県（地区）別業務分担表		16
13. 平成23年度関東支部評議員業務分担表		17

### 3. 関東支部評議員会報告

関東支部評議員会は平成 23 年 8 月 3 日、東京會館にて開催されました。平成 22 年度の関東支部役員会の決定に基づき、支部長を含め計 28 名により新たに関東支部評議員会がスタートしました。種々審議の結果、平成 23 年度も例年通りの研究助成、アレルギー一週間での一般向け講演会を推進することが承認されました。また役員会の構成について審議されました。その詳細は本紙

#### 1 1. 関東支部評議員会議事録をご参照ください。

尚、支部長を除く関東支部評議員リストは本紙第 16 頁表の啓発活動委員会委員（アレルギー一週間地区代表委員）の欄をご覧ください。

### 4. アレルギー一週間講演会等について

協会理事会で平成 24 年 2 月 17 日（金）～23 日（木）が 2012 アレルギー一週間「アレルギーの克服に向けて」と定められ 2 月 20 日はアレルギーの日となります。これに関連して、協会主催一般向けの第 18 回中央講演会：アレルギーの克服に向けて～「アレルギー疾患の予防と治療、自己管理を含め」が 2012 年 2 月 18 日（土） 13:00 ～ 16:30、星陵会館（東京都千代田区）にて開催されます。詳細は第 7 頁をご覧ください。

そのほか医師向け講演会、賛助会員向け講演会等も開催されます。

関東支部地域の一般向け講演会あるいは相談会は東京中央・城東地区、東京城北・多摩地区、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川各県で開催が予定されています。詳細は第 7 頁をご覧ください。

また患者会主催の行事も予定されています。詳細は第 8～10 頁をご参照ください。

なお関東支部地域での医師向け講演会の予定はありません。

## 5. トピックス

### 蕁麻疹診療ガイドライン(2011)の特徴と EBM

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 皮膚科

秀 道広

#### 我が国のガイドラインの特徴と改訂の要点

蕁麻疹・血管性浮腫の治療に関する最初のガイドライン<sup>1)</sup>は2005年に作成されたが、2011年にはEBMに沿った形で改訂された「蕁麻疹診療ガイドライン」<sup>1)</sup>が発表された。2005年の内容は一部簡略化と修正がなされて第I章となり、EBMsについては第II章として臨床設問(CQ)と構造化抄録の形で纏められた。国際的には2009年にEAACIが中心となって国際的なガイドライン<sup>2)</sup>が発表されているが、それらは慢性蕁麻疹に力点が置かれ、I型アレルギーなどの扱いは乏しい。我が国のガイドラインは、個々の治療薬のエビデンスの検証よりもむしろ蕁麻疹の病型と対応すべき病態を包括的に捉えて病型を整理し、診療現場での実用性を重視したところから出発しているところに特徴がある。今回、さらにEBMの形式を備えることで、より完成度が高いものになった(表1)。中でも、2011年の改訂では治療における時間経過についての記述が大幅に増加し、抗ヒスタミン薬については症状消失後の中止のタイミングについて、発症してからの病相期間に応じた詳しいアルゴリズムが作成された。また、他の疾患同様、蕁麻疹でも薬物治療により症状を抑制することは大切であるが、ステロイドおよび免疫抑制剤などの身体的な負担の大きな薬剤を安易に使用することは戒められている。ステロイドについては、「体表の30%以上が掻破せずにおられないほどの強い痒みを伴う膨疹に覆われることがある急性蕁麻疹で、早期に症状を沈静化する必要がある場合は抗ヒスタミン薬に加えて数日以内のステロイドの内服または注射を併用しても良い。(推奨度C1、エビデンスレベルIV)」とされ、慢性蕁麻疹に対して皮疹があることだけで長期間の内服を続けないうよう推奨されている。(推奨度C2、エビデンスレベルVI)

表1. 蕁麻疹診療ガイドラインにおける主たる改訂点

1. 「第II章 蕁麻疹のEBMs」の設定
2. 分類の微修正
3. 診療アルゴリズムの充実(特に特発性の蕁麻疹)
4. 治療上の決定を支援するための視点の呈示
5. より具体的な治療内容の提案
6. 本文の重複を整理して診断については一部簡略化

#### 抗ヒスタミン薬の種類

蕁麻疹の薬物治療の基本は抗ヒスタミン薬の内服である。しかし、今日我が国では20種類以上の経口抗ヒスタミン薬が市販されている。2005年のガイドラインではいわゆる第2世代の抗ヒスタミン薬が推奨されていたが、第2世代の抗ヒスタミン薬の中だけでも中枢抑制作用についての大きな開きがある。今回の改訂では、第2世代の中から特に中枢移行性の低い10種類の抗ヒスタミン薬が推奨された(表2)。

また、通常量の抗ヒスタミン薬で十分な効果が得られない慢性蕁麻疹に対しては、鎮静性の低い抗ヒスタミン薬の増量は試みて良い、とされた。(推奨度B~C1、エビデンスレベルII、V)

妊婦については、鼻アレルギー診療ガイドラインに倣い、薬物治療の必要性が有害事象によるデメリットの可能性を上回る場合に使用する薬剤として、クロルフェニラミン、ロラタジン、セチリジン等、が挙げられている。

表 2. 蕁麻疹診療ガイドラインで推奨されている鎮静性の低い第 2 世代抗ヒスタミン薬

フェキソフェナジン塩酸塩
ロラタジン
エピナスチン塩酸塩
エバスタチン
セチリジン塩酸塩
オロパタジン塩酸塩
ベポタスチンベシル酸塩
アゼラスチン塩酸塩
メキタジン
レボセチリジン塩酸塩など

## 治療目標

蕁麻疹の治療目標は、最終的には無治療で症状が現れない状態である。I 型アレルギーによる蕁麻疹の場合、原因抗原を特定して患者との接触を回避することができれば症状が現れることはない。また、感染症に伴って出現した急性蕁麻疹の多くは、感染の終息とともに蕁麻疹も治癒し得る。そのため、これらの蕁麻疹には、当面の蕁麻疹の症状緩和の他は各々責任抗原への曝露回避と感染症への対応でよい。一方、蕁麻疹に関係する基礎疾患や悪化因子の明らかでない特発性の蕁麻疹では、治療介入により症状を軽減または消失させることはできても、くりかえし現れる蕁麻疹の背景あるいは病勢を確実に終息させる方法はない。そのため、しばしば患者と医療者の間で目標に食い違いを生じることがあるが、抗ヒスタミン薬を中心とした薬物治療の目標は内服中に症状を抑制するだけには留まらない。改訂されたガイドラインではそのための道筋として、症状が消失した後もしばらく内服を続けることが示されており、また、治療目標のアルゴリズムにも、「無治療で症状が現れない状態」が最終目標として明示されている。

## 血管性浮腫

血管性浮腫は、皮膚、粘膜の深部における一過性、限局性の浮腫を繰り返す疾患で、単独で現れるが通常蕁麻疹の部分症状、あるいは合併症として現れることもある。しかし、欧米に比べると我が国の蕁麻疹患者が血管性浮腫を合併する頻度は低い。発症機序としては、蕁麻疹と同じく特発性のものが多いが、アレルギー機序によるものや NSAIDs により誘発されるものもある。しかし、血管性浮腫に固有の病態もあり、特にアンジオテンシン転換酵素 (ACE) 阻害薬の内服継続中に生じるものや遺伝性血管性浮腫では、気道浮腫から窒息死に到る危険性がある。そのため、これらの病型と対処法は広く臨床医が認知しておくことが必要である。そこで今回の改訂では、血管性浮腫は 1 つの独立した病型群となり、表 3 に示す 3 病型に分類されている。なお、外来物質起因性の血管性浮腫の中でも、アンジオテンシン転換酵素阻害薬内服中に生じたものではその薬剤を中止することが大切であり、遺伝性血管性浮腫を含む C1 エステラーゼ阻害因子 (C1-INH) 低下を背景とした気道浮腫および腸管浮腫の場合は、C1-INH の点滴補充が有効である。

表 3. 蕁麻疹診療ガイドラインにおける血管性浮腫の分類

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 特発性の血管性浮腫</li><li>2. 外来物質起因性の血管性浮腫<ul style="list-style-type: none"><li>・ I 型アレルギーによるもの</li><li>・ NSAIDs によるもの</li><li>・ アンジオテンシン転換酵素 (ACE) 阻害薬によるもの</li><li>・ 物理性蕁麻疹に伴うもの</li></ul></li><li>3. C1 エステラーゼ阻害因子 (C1-esterase inhibitor; C1-INH) の低下による血管性浮腫 (遺伝性血管性浮腫 (hereditary angioedema; HAE)、自己免疫性血管性浮腫など)</li></ol> |
|---|

## おわりに

本ガイドラインは、日本皮膚科学会雑誌に掲載され、今のところオンラインでの閲覧は日本皮膚科学会会員に限られている。しかし、その簡単な紹介と解説は日本アレルギー学会の学会誌（アレルギー）にも掲載されている<sup>3,4)</sup>ので参照されたい。

## 文献

1. 秀 道広, 森田栄伸, 古川福実, 塩原哲夫, 相馬良直, 亀好良一, 他. 蕁麻疹診療ガイドライン. 日皮会誌 121: 1339-1388, 2011
2. Zuberbier T, et al. EAACI/GA<sup>2</sup>LEN/EDF/WAO guideline: management of urticaria. Allergy 64: 1427-1443, 2009.
3. 秀 道広. 我が国の蕁麻疹・血管性浮腫のガイドラインの特徴と役割. アレルギー 60: 802-808, 2011
4. 秀 道広. 蕁麻疹診療ガイドラインに盛り込まれたエビデンス. アレルギー 60: 966-970, 2011

6. アレルギー協会主催・共催・後援の講演会（当関東支部地域：東京都、長野・山梨・埼玉・

千葉・神奈川の各県分、2012年1月～7月） \* 一般向け

主催・共催 ・後援の別	日 時	テーマ・内容	場 所	主 催 者
主催*	2月18日(土) 13:00～16:30	第18回アレルギー週間中央講演会 ～アレルギーの克服に向けて～ 「アレルギー疾患の予防と治療、自己管理を含め」 基調講演と相談会 秋山一男先生(総合司会)、後藤 穰先生(アレルギー性鼻炎・花粉症)、 江藤 隆史先生(アトピー性皮膚炎)、 海老澤元宏先生(食物アレルギー)	星陵会館 東京都千代田区永田町 2-16-2 地下鉄有楽町線・半蔵 門線「永田町」下車 6 番出口徒歩3分 地下鉄千代田線・南北 線「国会議事堂前」下車 5番出口徒歩5分 地下鉄銀座線・丸の内 線「赤坂見附」下車 11 番出口徒歩7分	日本アレルギー協会 相談会での質問を事前 に受け付けています。 疾患名、性別、年齢、 質問を記入して下記へ FAX: 03-3523-8211 E-mail: allergy@jc-inc.co.jp
主催*	2月4日(土) 13:00～15:30	アレルギー週間市民公開講座2012	アコスホール南館7階 /草加市	日本アレルギー協会 (埼玉地区責任者 永田 真)
主催*	2月5日(日) 14:00～16:00	アレルギー週間東京城北・多摩地区市民 公開講座	帝京大学 本部棟4階 会議室/東京都板橋区	日本アレルギー協会 (東京城北・多摩地区 責任者 大田 健)
主催*	2月5日(日) 14:00～16:00	山梨アレルギー市民フォーラム2012	山梨大学玉穂キャンパ ス臨床小講堂/中央市	日本アレルギー協会 (山梨地区責任者 増山 敬祐)
主催*	2月12日(日) 13:00～15:30	千葉ブロック東部地区市民公開講座 「アレルギー・アトピーの克服に向けて ー花粉症とぜん息を一緒に考えましょ うー」	成田市保健福祉館	日本アレルギー協会 (千葉地区責任者 西牟田敏之)
主催*	2月18日(土) 13:30～16:20	信州アレルギー市民フォーラム2012	長野県農協ビル会議室 /長野市	日本アレルギー協会 (長野地区責任者 久保 恵嗣)
主催*	2月19日(日) 13:00～16:00	千葉ブロック千葉地区市民公開講座「ア レルギー疾患の克服に向けて」	プラザ菜の花/千葉市	日本アレルギー協会 (千葉地区責任者 西牟田敏之)
主催*	2月19日(日) 14:00～16:00	アレルギー患者相談会 「アレルギー疾患の予防、治療法をよ り良く知るために」	横浜新都市ビル(そご う)9階市民フロア ミーティングルーム/ 横浜市	日本アレルギー協会 (神奈川地区責任者 秋山 一男)
主催*	3月17日(土) 14:00～17:00	東京中央・城東地区市民公開講座 「成人のアレルギー」アトピー性皮膚 炎、アレルギー性鼻炎、気管支喘息	同愛記念病院4階大講 堂/東京都墨田区	日本アレルギー協会 (東京中央・城東地区 責任者 佐野 靖之)

7. 患者団体講演会、集会（当関東支部地域：東京都、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川の各県分、2012年1月～7月）

会員以外の方でも自由に参加できます

日 時	会 名	会 場	主催団体、連絡先
1月28日（土） 9:30～11:30	第5回勉強会（事前申込：必要） 「今年の花粉情報・花粉症とアレルギー性鼻炎について」 国立病院機構相模原病院耳鼻咽喉科医長 石井豊太先生 サポート：医療関係者、資料配布あり。 定員50名	小田急相模原駅北口 ラクアルオダサガ4F「おださがプラザ」多目的ホール	NPO 法人 相模原アレルギーの会 <a href="http://allergy-net.web.infoseek.co.jp/kanja/">http://allergy-net.web.infoseek.co.jp/kanja/</a> E-mail:allergy-net@jcom.home.ne.jp 事務所 TEL 042-745-8801
2月11日（土・祝日） 13:00～16:00	■「2012年アレルギー研究最前線」 齋藤博久先生（国立成育医療研究センター研究所副所長） ■「食物アレルギー専門医の最前線」 今井孝成先生（国立相模原病院小児科医長） ■エピペン 実物を見て、試してみよう	青山こどもの城： <a href="http://www.kodomo-shiro.or.jp">http://www.kodomo-shiro.or.jp</a> 渋谷区／表参道駅下車すぐ	NPO 法人 アレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」 <a href="http://www.allergypot.net">http://www.allergypot.net</a> E-mail:info@allergypot.net TEL 090-4728-5421
2月25日（土） 10:00～13:00 15:00 迄懇談可	アレルギー週間協賛事業 食物アレルギー患者・ご家族のために 「摂取制限の正しい知識&配慮の調理実習」 講師・調理指導 国立病院機構相模原病院 臨床研究センター・アレルギー性疾患研究部 管理栄養士 林典子先生 定員30名（先着順） 申込みにて保育あり 3歳以上10名迄 実習材料費 500円	相模原市 大野南公民館2F 料理実習室 小田急線相模大野駅より徒歩7分	主催：NPO 法人 相模原アレルギーの会 相模原市 申し込み：相模原市保健所健康企画課 総務・母子保健班 042-769-8345
2月25日（土）～26日（日） 13:00～16:00 25日（土）ぜんそく 26日（日）アトピー性皮膚炎	第18回アレルギー週間協賛行事：ぜんそく・アトピー性皮膚炎実践講座及び患者交流会（事前申込：必要）	NPO 法人日本アレルギー友の会事務所（都営新宿線・半蔵門線住吉駅、JR 錦糸町駅より都バス「住吉駅前」下車徒歩3分）	NPO 法人 日本アレルギー友の会 TEL 03-3634-0865 （毎週火・土曜日 11:00～16:00） FAX 03-3634-0850 E-mail:j-allergy@nifty.com <a href="http://www.allergy.gr.jp">http://www.allergy.gr.jp</a>

<p>3月31日(土) 13:00~16:30</p>	<p>第6回「アナフィラキシー親子のための懇談会」 国立病院機構相模原病院小児科医長 今井孝成先生 ・要予約30名、資料代等実費500円</p>	<p>横浜市旭区市民活動支援センター「みなくる」 TEL045-382-1000 相鉄線「鶴ヶ峰」駅徒歩2分</p>	<p>NPO法人 アレルギーを考える母の会 <a href="http://www.hahanokai.org/">http://www.hahanokai.org/</a> FAX 045-362-3106 E-mail:m-sonobe@cf6.so-net.ne.jp</p>
<p>5月19日(土) 13:00~16:30 (予定)</p>	<p>第33回春季講演会 第1部 講演 福富友馬先生 第2部 相談会 成人・小児・耳鼻(予定)個別に分かれての相談 (講師等、未定) (事前申込:必要)</p>	<p>国立病院機構相模原病院 北隣 神奈川障害者職業能力開発校 小田急線「小田急相模原」駅下車徒歩15分</p>	<p>NPO法人 相模原アレルギーの会 <a href="http://allergy-net.web.infoseek.co.jp/kanja/">http://allergy-net.web.infoseek.co.jp/kanja/</a> E-mail:allergy-net@jcom.home.ne.jp 事務所 TEL 042-745-8801</p>
<p>5月27日(日) ぜんそく・アトピーの講演会とQ&amp;A 12:30~16:00(予定)</p>	<p>講演会とQ&amp;A 《ぜんそく・アトピー性皮膚炎最新治療》 「成人ぜんそく」 帝京大学医学部呼吸器アレルギー内科教授 山口正雄先生 「アトピー性皮膚炎」 東京女子医科大学附属女性生涯健康センター副所長皮膚科兼任教授 檜垣祐子先生 「Q&amp;A司会」 坂本芳雄先生(関東中央病院呼吸器内科部長) 江藤隆史先生(東京通信病院皮膚科部長) (事前申込:必要)</p>	<p>東医健保会館(東京都新宿区) TEL 03-3353-4311 JR信濃町駅下車徒歩5分</p>	<p>NPO法人 日本アレルギー友の会 TEL 03-3634-0865 (毎週火・土曜日 11:00~16:00) FAX 03-3634-0850 E-mail:j-allergy@nifty.com <a href="http://www.allergy.gr.jp/">http://www.allergy.gr.jp/</a></p>
<p>5月27日(日) 14:30~16:00</p>	<p>講演会 講演内容、場所などのお問い合わせは、4月以降に直接事務局へお問い合わせください。 NPO法人 エパレク事務局 鎌田 TEL:090-8724-2184 E-mail:eparec@nifty.com</p>		<p>NPO法人 環境汚染等から呼吸器病患者を守る会(通称:エパレク)事務局 <a href="http://eparec.com/">http://eparec.com/</a> E-mail:eparec@nifty.com TEL 03-6272-9413</p>
<p>毎週火・土曜日 (祝日を除く) 11:00~16:00  毎月第3土曜日 13:00~15:00</p>	<p>患者による療養相談 当会ベテラン患者相談員が相談に応じます。(電話・来所)  患者交流会(ぜんそく・アトピー性皮膚炎) (事前申込:必要)</p>	<p>NPO法人日本アレルギー友の会事務所(都営新宿線・半蔵門線住吉駅、JR錦糸町駅より都バス「住吉駅前」下車徒歩3分)</p>	<p>NPO法人 日本アレルギー友の会 TEL 03-3634-0865 (毎週火・土曜日 11:00~16:00) FAX 03-3634-0850 <a href="http://www.allergy.gr.jp/">http://www.allergy.gr.jp/</a> E-mail:j-allergy@nifty.com</p>

<p>毎月第2土曜日 1月と8月はお休み。 13:00～16:00 (月によって変更の場合 がありますので、参加 希望の方はエパレク HPをご覧ください)</p>	<p>ぜん息を自己管理するための学習会 (事前申込：必要)</p>	<p>港区高輪コミュニティーぱら ざ内3階 高輪区民センター 地下鉄南北線・三田線「白金高 輪」駅下車、1番出口 (駅の真上です。)</p>	<p>NPO 法人 環境汚染等から呼吸 器病患者を守る会(通称：エパ レク) 事務局 http://eparec.com/ E-mail: eparec@nifty.com TEL 03-6272-9413</p>
<p>毎月第4火曜日(祝日も 開催) 10:00～12:00</p>	<p>アレルギー相談・患者交流会 「ちょっと chat の会」 どなたでもお気軽に。出入り自由です。 (事前申込：不要)</p>	<p>かながわ県民センター 15 階 セルフヘルプ相談室1 (「横浜」駅西口徒歩5分 横 浜市鶴屋町2-24-2) TEL045-312-1121(内 3501) FAX 相談 045-312-6307</p>	<p>NPO 法人アレルギーを考える 母の会 http://www.hahanokai.org/ FAX 045-362-3106 E-mail:m-sonobe@cf6.so-net .ne.jp</p>
<p>毎月1回 9:30～11:30 隔月開催 10:00～12:00 不定期開催 【開催日等は、HPでお知 らせしています】</p>	<p>しゃべり場／自由が丘  しゃべり場／八王子  出張しゃべり場：5人集まれば、どこで も開催、共催(患者会／学校／保健所等) 入退場は自由。初歩的質問、大歓迎です</p>	<p>目黒区緑ヶ丘文化会館第2研 修室(部屋の変更あり) 八王子市民活動支援センター  主催共催など、ご希望の方法、 場所、時間、対象で開催してい ます。お気軽に相談下さい</p>	<p>NPO 法人アレルギー児を支え る全国ネット「アラジーポッ ト」 http://www.allergypot.net E-mail:info@allergypot.net TEL 090-4728-5421</p>

## 8. 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会（日本アレルギー学会と同関連学会）（2012年1～7月）

以下は社団法人日本アレルギー学会の許可を得て、同会誌「アレルギー」2011年12月号（60巻12号）1648-1657頁、会報「専門医制度情報 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会開催予定（2012年・国内）」およびインターネット同学会公式サイト「社団法人日本アレルギー学会：専門医制度にかかわる各種開催案内」より1～7月の日本アレルギー学会と同関連学会（\*）のみ抜粋して掲載した。

回	会名	会期	会場	担当施設・連絡先	会長・TEL
30 *	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	2月16日(木)～18日(土)	琵琶湖ホテル	滋賀医科大学耳鼻咽喉科学講座 神前英明 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 TEL: 077-548-2261 FAX: 077-548-2783	清水猛史
52 *	日本呼吸器学会	4月20日(金)～22日(日)	神戸コンベンションセンター	北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学分野 〒060-8638 北海道札幌市北区北15条西7	西村正治 011-716-1161
56 *	日本リウマチ学会総会・学術集会	4月26日(木)～28日(土)	グランドプリンスホテル新高輪 国際館 パミール	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科膠原病・リウマチ内科学	宮坂信之
24	日本アレルギー学会春季臨床大会	5月12日(土)～13日(日)	大阪国際会議場(大阪)	大阪大学大学院情報統合医学講座皮膚科学教室 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2 TEL: 06-6879-3034 FAX: 06-6879-3039	片山一郎
41 *	日本アレルギー学会専門医教育セミナー	5月13日(日) 13:30～16:45	大阪国際会議場(大阪)	(社)日本アレルギー学会 〒110-0005 東京都台東区上野1-13-3	03-5807-1701
43 *	日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会	6月15日(金)～16日(土)	学術総合センター	昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科 〒142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8	足立 満
29 *	日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会	6月16日(土)～17日(日)	新梅田研修センター	大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科	亀田 誠 072-957-2121
42 *	日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会学術大会	7月13日(金)～15日(日)	軽井沢プリンスホテルウエスト	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学分野 〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45	横関博雄 03-5803-5286

## 9. 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会

(当関東支部地域：東京都、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川の各県分、2012年1月～7月)

以下は社団法人日本アレルギー学会の許可を得て、同会誌「アレルギー」2011年12月号(60巻12号)1648-1657頁、会報「専門医制度情報 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会開催予定(2012年・国内)」およびインターネット同学会公式サイト「社団法人日本アレルギー学会：専門医制度にかかわる各種開催案内」より関東支部地域の1～7月分を抜粋して転載した。(日本アレルギー学会と同関連学会は上記8項に記載)

回	会名	会期	会場	担当施設・連絡先	会長・TEL
10	アレルギー性鼻炎フォーラム2012	1月21日(土) 16:00～18:00	ホテルニューオータニザ・メイン 「鶴西の間」	新橋アレルギー・リウマチクリニック 〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル	奥田 稔 03-3591-5464
60	関東耳鼻咽喉科アレルギー懇話会	1月22日(日) 14:00～17:00	日本教育会館	(事務局)日本医科大学武蔵小杉病院耳鼻咽喉科 藤倉輝道 〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町1-396	大久保公裕 03-3822-2131
10	埼玉アレルギー研究会	2月1日(水) 19:00～21:15	サンシティ越谷	獨協医科大学越谷病院呼吸器内科 〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷2-1-50	相良博典 048-965-1111
20	関東アレルギークラブ	2月4日(土) 15:00～18:00	経団連会館	東京女子医科大学 〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1	(当番世話人) 高村悦子 03-3353-8111
20	長野県気管支喘息研究会	2月4日(土) 15:45～18:10	信州大学医学部附属病院外来棟4階 中会議室	信州大学医学部内科学第一講座 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1	久保恵嗣 0263-37-2629
10	横浜小児アレルギー研究会	2月8日(水) 19:00～21:00	未定	神奈川県立こども医療センターアレルギー科 〒232-8555 神奈川県横浜市南区六ツ川2-138-4	栗原和幸 045-711-2351
8	埼玉アレルギー性鼻炎フォーラム	2月9日(木) 18:50～21:10	浦和ロイヤルパインズホテル	自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科 〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847	飯野ゆき子 048-647-2111
22	城東地区小児アレルギー懇話会	2月18日(土) 17:30～19:30	ホテルエドモント飯田橋	東京家政大学小児医学 〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1	岩田 力
12	食物アレルギー研究会	2月18日(土) 9:00～18:30	昭和大学上條講堂	国立病院機構相模原病院内第12回食物アレルギー研究会事務局 〒252-0392 神奈川県相模原市南区桜台18-1 TEL:042-742-8311	宇理須厚雄 (藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院)
30	漢方免疫アレルギー研究会	2月25日(土) 13:00～18:00 (予定)	UDXカンファランス(東京/秋葉原)	CRD研究所	(理事長) 福地義之助

34	吸入療法研究会	2月25日(土) 13:00~18:00	ベルサール八重洲	和歌山県立医科大学内科学第三講座 〒641-8509 和歌山県和歌山市紀三井寺 811-1	田村 弦 073-441-0619
39	埼玉喘息・アレルギー研究会	2月25日(土) 14:40~18:25	埼玉県県民健康センター	埼玉医科大学呼吸器内科アレルギー喘息センター 〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38	永田 真 049-276-1319
75	小児アレルギー同好会	2月25日(土) 16:00~18:00	ホテルグランドパレス	東邦大学医療センター大森病院小児科 〒143-8541 東京都大田区大森西6-11-1	渡邊美砂 03-3762-4151
16	アレルギー臨床懇話会	2月頃	(独) 国立成育医療研究センター 1階講堂	(独) 国立成育医療研究センターアレルギー科 〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1	大矢幸弘 03-3416-0181 (医療連携室)
5	東京呼吸器・アレルギーカンファランス	3月8日(木) 19:15~20:00	ホテルメトロポリタン池袋	帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学	大田 健 03-3964-1211
65	横浜市アレルギー懇話会	3月14日(水) 19:00(予定)	横浜市崎陽軒本店(予定)	神奈川県立こども医療センター 〒232-8555 神奈川県横浜市南区六ツ川 2-138-4	栗原和幸 045-711-2351
9	日本喘息・COPD フォーラム/ Japan Asthma COPD Management Forum (JASCOM)	3月17日(土) 15:00~18:30	東京プリンスホテル	JASCOM 事務局 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 2-9 カサヤビル 1F (株) プラップジヤパン内 TEL:03-3486-5961	足立 満 永井厚志 西牟田敏之
22	東京城南喘息・アレルギー研究会	3月22日(木)	(未定)	(未定)	(未定)
8	城南小児アレルギー懇話会	3月	目黒雅叙園	(財) 東京都保健医療公社荏原病院小児科 松井猛彦 〒145-0065 東京都大田区東雪谷 4-5-10	佐地 勉 (東邦大学小児科) 03-3762-4151
38	耳鼻咽喉科アレルギー懇話会	5月13日(日)	(未定)	日本臨床アレルギー研究所 〒105-0004 東京都港区新橋 2-16-1 ニュー新橋ビル	奥田 稔 03-3591-5464
7	小児アレルギーAGORA in 城北	5月頃	帝京大学病院	帝京大学小児科 〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1	小林茂俊 03-3964-1211
26	アレルギー・好酸球研究会 2012	6月23日(土) 9:00~17:00(予定)	大手町サンケイプラザ	(事務局分室) (株) グラフティ内 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-20-2 ベル赤坂 TEL:03-3583-1740	加藤政彦 (群馬県立小児医療センター)
69	臨床アレルギー研究会(関東)	6月23日(土) 13:00~	富国生命ビル 28階	杏林大学医学部 〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2	滝澤 始 0422-47-5511

33	日本炎症・再生医学会**	7月5日(木) ~6日(金)	ホテル日航福岡	(事務局)産業医科大学医学部 第1内科学講座 〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1 (運営準備室)日本コンベンションサービス(株) 〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18階 TEL03-3508-1214	田中良哉
22	国際喘息学会日本・北アジア部会**	7月6日(金) ~7日(土)	九州大学医学部百年講堂		岩永知秋
35	吸入療法研究会	7月14日(土) 13:00~18:00	大手町サンケイプラザ	和歌山県立医科大学内科学第三講座 〒641-8509 和歌山県和歌山市紀三井寺811-1	田村 弦 073-441-0619

\*\* 関東支部地域開催ではないが特に記載した。

## 10. 公益財団法人日本アレルギー協会理事、監事、評議員 (平成23年12月1日現在)

	<b>理事長</b> 宮本 昭正	
北海道	<b>理事</b> 大野 重昭 (支部長)	<b>評議員</b> 有賀 正
東北	同 田村 弦 (支部長)、山内 広平	同 高梨 信吾、棟方 充
北関東	同 福田 健 (支部長)	同 土橋 邦生
関東	同 伊藤 幸治 (支部長) 秋山 一男、足立 満	同 大久保公裕、大田 健 岡本 美孝、西牟田敏之
東海	同 高木 健三 (支部長)	同 近藤 直実
北陸	同 眞弓 光文 (支部長)	同 藤村 政樹
関西	同 川瀬 一郎 (支部長)、東田 有智、五十嵐 敢	同 末廣 豊、竹中 洋
中国	同 欠	同 秀 道広
四国	同 曾根 三郎 (支部長)	同 大串 文隆
九州	同 西間 三馨 (支部長)	同 久保 千春
本部	同 今村 聡、松田 譲	
	<b>監事</b> 岩本逸夫、河野 陽一	

ほかに評議員選定委員会委員として関東支部より 森田 寛

## 11. 関東支部評議員会議事録

- 日時 平成23年8月3日(水) 18時30分から20時
- 場所 LEVEL XXI東京會館
- 出席者 伊藤 幸治 飯野ゆき子 大久保公裕 岡本 美孝  
久保 恵嗣 栗原 和幸 坂本 芳雄 佐野 靖之  
西牟田敏之 藤本 圭作 森田 寛 山口 正雄
- 議長 支部長 伊藤 幸治

支部長から、支部評議員28名のうち出席者は12名、欠席者は16名であるが、うち13名から委任状をいただいております、会議は成立する旨の報告があった。

また、新たに支部評議員となられた飯野ゆき子先生、藤本 圭作先生が紹介され、あいさつがあった。

## 5 議 事

### I 報告事項

#### (1) 理事会報告

支部長から資料1に基づいて第18回アレルギー週間行事について説明があった。

また、研究奨励賞、国際交流助成、アボット ジャパン・アレルギー学術奨励賞、真鍋奨学助成については各委員会で審査して受賞者が決定した。近日中にホームページに掲載される予定である。専門医等名簿の発行、機関誌「アレルギー」の発行、医家向け研修会の開催、賛助会員向け研修会の開催についても審議されたという報告があった。

### II 審議事項

#### (1) 平成22年度事業概要報告

支部長から資料2に基づいて平成22年度「旧法人」、「新法人」の事業概要の報告があり、第17回アレルギー週間行事は当支部の6地区で行われ、埼玉地区は飯野先生、千葉地区は西牟田先生、山梨地区は支部長、長野地区は久保先生、神奈川地区は栗原先生、東京中央・城東地区は大久保先生からそれぞれ報告があった。なお、ほかに千葉東部地域で開催予定であった行事は東日本大震災の直後であったため中止になったことが西牟田先生より報告があった。

平成22年度事業概要報告は出席者に諮ったところ承認となった。

#### (2) 平成22年度収支決算報告

事務局から資料3に基づいて平成22年度「旧法人」、「新法人」の収支決算の報告があった。「新法人」になり経理面での変更は、市民公開講座等の講師謝金の科目が従来は啓発活動費であったが諸謝金になったという補足があった。

斎藤博久先生から監査報告書をいただいたので資料とした。また、計数については監査法人の外部監査を受けた旨の報告があった。

平成22年度収支決算報告は出席者に諮ったところ承認となった。

#### (3) 平成23年度事業計画

支部長から資料4に基づいて説明があり承認となった。

#### (4) 平成23年度収支予算

事務局から資料5に基づいて説明があり承認となった。

#### (5) 平成23年度役割分担

支部長から資料6に基づいて説明があり承認となった。

### III その他

#### (1) 平成22年度個人会員状況

事務局から資料7に基づいて説明があった。

#### (2) 関東支部だよりの発行について

支部長から次のような説明があった。

6月に第10号を発刊した。広告を集めて発行する案もあったが現状で発行したい。

以上を以って議事を終了し支部評議員会は閉会となった。

## 12. 平成23年度関東支部評議員県（地区）別業務分担表

県・地区	担 当 地 域	地区別責任者 (研修会責任者)	啓発活動委員会委員 (アレルギー週間 地区代表委員)	支部 JAANet 編集委員
関東支部	関東全域			永田 真
東京 中央・城東地区	千代田区、中央区、港区、文京区、 足立区、 江戸川区、葛飾区、江東区、墨田区	佐野 靖之	佐野 靖之 大久保公裕 久松 建一 森田 寛	森田 寛
東京 城西・城南地区	新宿区、杉並区、豊島区、中野区、 大田区、 渋谷区、品川区、世田谷区、目黒区	足立 満	足立 満 斎藤 博久 坂本 芳雄	斎藤 博久
東京 城北・多摩地区	荒川区、板橋区、北区、台東区、 練馬区 東京都23区以外の市町村	大田 健	大田 健 塩原 哲夫 鈴木 直仁 眞野 健次 山口 正雄	鈴木 直仁
埼玉県	埼玉県内全域	永田 真	永田 真 飯野ゆき子	倉島 一喜
千葉県	千葉県内全域	西牟田敏之	西牟田敏之 岩本 逸夫 岡本 美孝 河野 陽一 富岡 玖夫 中島 裕史	岩本 逸夫
神奈川県	神奈川県内全域	秋山 一男	秋山 一男 池澤 善郎 海老澤元宏 栗原 和幸	長谷川眞紀
山梨県	山梨県内全域	増山 敬祐	増山 敬祐	松崎 全成
長野県	長野県内全域	久保 恵嗣	久保 恵嗣 藤本 圭作	藤本 圭作

13. 平成23年度関東支部評議員業務分担表

学術講習委員会	研究助成委員会		関東支部だより編集委員	庶務・会計
	委員会	審査部会		
◎ 富岡 玖夫	◎ 秋山 一男	◎ 秋山 一男	◎ 伊藤 幸治	斎藤 博久
○ 足立 満	○ 岡本 美孝	○ 岡本 美孝	○ 山口 正雄	
秋山 一男	足立 満	足立 満		
坂本 芳雄	伊藤 幸治	伊藤 幸治		
佐野 靖之	大田 健	河野 陽一		
塩原 哲夫	久保 恵嗣	富岡 玖夫		
鈴木 直仁	栗原 和幸			
増山 敬祐	河野 陽一			
	富岡 玖夫			
	森田 寛			
	山口 正雄			

◎印 委員長

○印 副委員長